

目 録

題 名：『グリーン・グリーン』

ソフトウェアの形式：P Cゲーム

(対応機種：ウィンドウズ 98 / ME / 2000)

ソフトウェアの形態：CD - ROM および DVD

ジャンル：アドベンチャーノベル

以上

著作権目録

『グリーン・グリーン』の基本シナリオ

1 作品の特徴

前作『カナリア』が導入して好評であった手法を再現し、登場人物ごとにボーカル入りのイメージソングを設定するとともに、オープニングテーマ1曲、エンディングテーマ6曲の合計7曲のオリジナルソングを収録することにより、音楽的付加価値の高い作品とする。

2 ストーリー展開

(設定：「起」)

緑豊かな山奥の全寮制男子校で、やるせない日々を送っていた主人公「高崎祐介」(ゲームのプレイヤー)。そんなある日、学校校長が学生に対して重大発表をする。この全寮制男子校に、女子生徒が編入してくることを決定したと。主人公をはじめ男子学生達は、この学校に入学して以来、女の子とまともに話をしたことがないため、不安と期待で一杯となる。

そんな男子学生達の不安と期待をよそに、試験的に女子生徒が全国から転入してきて、ドタバタコメディタッチのストーリーが展開されていく。このように、導入部は、男と女という性差を異文化として捉えることで新鮮な印象を与えることに重要なポイントを置いている。

もう一つのポイントは、設定を大自然の中の全寮制学園生活に置いたことにある。学校生活という若者に違和感を与えない環境条件と、大自然の中という非日常的かつ新鮮な環境条件を同時に実現させるため、全寮制が設定され、ヒロイン達との時間共有を可能にしている。

(「承」)

男の子が、異性に対して一方的な期待を持っているのに対し、ヒロイン達はどれも個

性的で、主人公にとっては予測不可能な生き物に映り、不安は戸惑いへ変化する。そのうち、自分が抱いた理想と現実とのギャップが失望に変わるにつれて、男の子と女の子は、お互いが対立するようになる。

（「転」）

ゲームとしての細部のストーリー展開に、複数のパターンが用意される。

細部展開の中で、主人公が個々のヒロイン達が持つそれぞれの「秘密」に関わる形でストーリーが進展する。ゲーム中に登場する 5 人のヒロイン達はそれぞれに何らかの「秘密」を抱えており、その各ヒロインが抱えた「秘密」は、主人公の周囲におこる事件の原因であったり、ヒロインの抱える悲しい過去（ヒロインのトラウマとして描写される）であったりする。

主人公がヒロイン達と仲良くなればなるほど、徐々にヒロインの「秘密」を知ることとなり、感情移入しやすい状況がつくられる。

（「結」）

最終的には、主人公が、どのヒロインとのコミュニケーションを推進したとしても、ゲームとして設定している正しい選択枝を歩んでいけば、学校の共学化へ向けて男の子と女の子が協力しあうようになるというハッピーエンドとなる。他方で、恋愛ストーリーとしてのゴールがあり、主人公がヒロインと結ばれることもある。

3 主要登場人物の設定

①ヒロイン設定

i 千歳 みどり（ちとせ みどり）

身長 158 センチ。Dカップ。

好奇心旺盛で、何にでも首を突っ込みたがる。天然ボケ。ずっと外国で暮らしていたらしく、日本での生活に疎い。かなり、とんちんかんな言動が目立つため、ちょっ

と変わった子と思われているが、快活で気さくな性格と、無邪気な顔に似合わない胸の大きさと男の子の人気は何気に高い。

ii 朽木 双葉（くちき ふたば）

身長 164 センチ。Bカップ。

勝気で気が短い。しばられたり、梓にはまった考えが嫌い。クラスの女の子のリーダー的存在で、男子特に天神とは仲が悪い。生家は平安時代より『植物を操る』と言われる陰陽師の家系。その自分の家系を古臭いと馬鹿にしている。厳しい陰陽師への反発から、この学校へやってきた。胸が小さいのが密かな悩み。

iii 朽木 若葉（くちき わかば）

身長 153 センチ。Cカップ。

健気で誰にでもやさしい、姉とは反対の性格。人の役に立つのがうれしらしく、困っている人を見ると放っておけない。幼い頃から世話しているサボテンの鉢植えをいつも持ち歩いている。サボテンは人の心がわかるというのが口癖。姉の双葉にくっついて編入してきた。趣味は園芸。

iv 美南 早苗（みなみ さなえ）

身長 145 センチ。Aカップ。

主人公の1年後輩で、ちょっと無口な女の子。人付き合いが苦手なので控えめなところもあるが、仲良くなれば明るく話す。あまり体は丈夫な方ではないようで、いつもビタミン剤を持ち歩いて飲んでいる。

v 飯野 千草（いいの ちぐさ）

身長 170 センチ。Eカップ。

共学試験期間中、女子生徒のメンタルケアを目的にやってきた先生。普段は保健室

で共学化による悩みごとや不便なことなど女子から相談を受けている。胸が大きいので、男子生徒から影で「Eの巨乳」と名前をもじって言われている。

②サブキャラクター設定

i 小林 樹（こばやし いつき）

身長 165 センチ。

主人公のクラスメイトで同室者。入学したときから一緒のクラスで、仲良くやっている。「男らしい」のがモットーのようで、困っている人やイジメなどを放ってはおけない。一部の男子からも人気がある。

ii 天神 泰造（てんじん たいぞう）

九州出身で主人公のクラスメイト。柔道部に所属している。大きく豪放なみかけとは裏腹に、結構気は小さい。可愛い子を見るたびに、「寝技行きたいですタイ」とか言う。

iii 轟 やすし（とどろき やすし）

四十歳独身の主人公たちの担任にして寮長。陰険な性格で主人公達をいびることが生きがい。広島出身だが関西弁を話す。

別紙「平成13月1月19日でのキャラクター設定」

a 千歳 みどり (ちとせ みどり)

身長158センチ。Dカップ。

2年生。好奇心旺盛で、何にでも首を突っ込みたがる。天然ボケ。ずっと外国で暮らしていたらしく、日本での生活に疎い。かなりとんちんかんな言動が目立つため、ちょっと変わった子とされているが、快活で気さくな性格と、無邪気な顔に似合わない胸の大きさと男の子の人気は何気に高い。

b 朽木 双葉 (くちき ふたば)

身長164センチ。Bカップ。

2年生。勝気で気が短い。しばられたり、粹にはまった考えが嫌い。クラスの女子のリーダー的存在で、男子、特に天神とは仲が悪い。生家は平安時代より「植物を操る」と言われる陰陽師の家系。その自分の家系を古臭いと馬鹿にしている。厳しい陰陽師の父への反発から、この学校へやってきた。胸が小さいのが密かな悩み。

c 朽木 若葉 (くつき わかば)

身長153センチ。Cカップ。

1年生。健気で誰にでもやさしい、姉とは反対の性格。人の役に立つのがうれしく、困っている人を見ると放っておけない。幼い頃から世話しているサボテンの鉢植えをいつも持ち歩いている。サボテンは人の心がわかるというのが口癖。姉の双葉にくっついて編入してきた。実は双葉が幼少時に作り出したサボテンの式神。趣味は園芸。

d 美南 早苗 (みなみ さなえ)

身長145センチ。Aカップ。

1年生。明るい性格なのだが、入院生活が長く、学校に通うのは今回が初めて。そのせいで人との付き合い方がわからず、あまり心を開かないために暗く無口だと思われる。子供の頃から飲んでいる薬のせいで、身体がほとんど発達していない。動物と自然が好きで、将来は獣医になりたいなあとぼんやり考えている。

E 飯野 千草 (いいの ちぐさ)

身長170センチ。Eカップ。

23歳。年上の先生。恋愛をしたことのないがゆえに無自覚な行動で生徒をやきもきさせてしまう。名前をもじられて、男子生徒からあだ名で「Eの乳房」といわれている。

f 小林 樹 (こばやし いつき)

身長165センチ。Bカップ。

2年生。主人公のクラスメイトで同室者。入学したときから一緒のクラスで、仲良くやっている。顔がきれいで一部の男子からも人気がある。男気があり、友情などを大事にする。運動などもできるが波があり、急に動けなくなったりいらいらしたりする（実は女）。

g 轟 やすし (とどろけ やすし)

四十代独身。主人公のクラス担任で寮長。陰険な性格で主人公達をいびることが生きがい。広島出身。

h 天神 泰三 (てんじん たいぞう)

2年生。鹿児島出身で主人公のクラスメイト。柔道部のキャプテン。みかけとは裏腹に、気が弱い。口癖「今日こそ〇〇に寝技をかけに行くぞい」「オナゴ！」。